

**16年連続でレンズ交換式デジタルカメラの世界シェア No.1 を達成**

キヤノンは、レンズ交換式デジタルカメラ（デジタル一眼レフカメラおよびミラーレスカメラ）の世界市場において、2003年から2018年まで16年連続で台数シェア No.1\*を達成しました。

■ 2018年に発売した主なレンズ交換式デジタルカメラ



ミラーレスカメラ  
「EOS R」



ミラーレスカメラ  
「EOS Kiss M」



デジタル一眼レフカメラ  
「EOS Kiss X90」

キヤノンのレンズ交換式カメラ EOS シリーズは、「快速・快適・高画質」を基本コンセプトとして、キーデバイスである CMOS センサー、映像エンジン、および交換レンズを独自に開発してきたイメージングシステムです。プロから高い信頼を得ている高性能なフラッグシップモデルから、簡単な操作で高画質な撮影を楽しむことができるエントリーモデルまで幅広い製品ラインアップをそろえることで、お客さまの多様なニーズに応え続けています。

2003年、黎明期れいめいにおけるデジタル一眼レフカメラとして、画期的な小型・軽量と低価格を実現したエントリーモデル「EOS Kiss Digital」を発売し、市場拡大のきっかけを作り、圧倒的世界シェア No.1 を獲得しました。その後もプロ向けの EOS-1D シリーズや、一眼レフカメラによる動画撮影を普及させた EOS 5D シリーズなどの時代を切り拓く製品を提案してきました。

2018年は、初心者でも本格的な撮影を手軽に楽しめるミラーレスカメラ「EOS Kiss M」やデジタル一眼レフカメラ「EOS Kiss X90」を3月に発売し、ラインアップのさらなる充実を図ることで、2018年において世界シェア No.1 を達成しました。

また2018年10月には、撮影領域のさらなる拡大と新しい映像表現の可能性を追求し、レンズを核とする新システム「EOS R システム」のフルサイズミラーレスカメラ「EOS R」を発売しました。さらに本年3月にはフルサイズセンサーによる高画質を小型・軽量のボディーで実現したミラーレスカメラ「EOS RP」を発売し、開発中の RF レンズを含め、「EOS R システム」の拡充を図っています。

キヤノンは、これからも光学技術を中心に映像技術に磨きをかけ、EOS システムをさらに強化・拡充することで、新たな映像領域を切り拓き、写真・映像文化のさらなる発展に貢献していきます。

\* キヤノン調べ。